

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	地域まちづくり支援事業(南区)			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	南区役所	局	部	自治推進	課 評価責任者(課長名)
					東屋

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	区域の特色を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市地域まちづくり支援事業補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	近年、ますます多様化複雑化する市民ニーズに対応し、各種地域課題を解決するため、「地域のことは地域で」との考えのもと、行政では気づきにくい市民ニーズを発掘し、今までには無い斬新なアイデアが生み出されることを目的に当該事業を行うものである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	校区の多種多様な団体により組織された「校区まちづくり協議会」が自ら立案・実施される、校区の全住民を対象とする校区の課題解決のための事業を支援の対象とする。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	「校区まちづくり協議会」における議論を通して、校区の共通認識としての課題抽出とその対策の発案が進み、校区の実情に則し、校区に根差した継続性のある持続的効果の高い事業が企画・実施されることにより、校区住民が自らの課題を自らで主体的・自己完結的に解決する住民自治を促す。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	校区自治連合会や校区福祉委員会など校区の多種多様な団体で構成される「校区まちづくり協議会」が、自らの課題を自らで主体的・自己完結的に解決するための校区レベルでの活動に対する支援を行い、市民協働・市民参加による共助の地域まちづくりを推進する。補助対象となる事業は、住民の自治意識の高揚及び連帯感の醸成を図る事業や、住民が安心して暮らせる安全安心のまちづくり事業、住民が共に支え合う地域福祉のまちづくり事業など、校区の課題解決に資する市民目線の新たな事業とする。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他() 各校区まちづくり協議会			

Ⅲ. 投入量

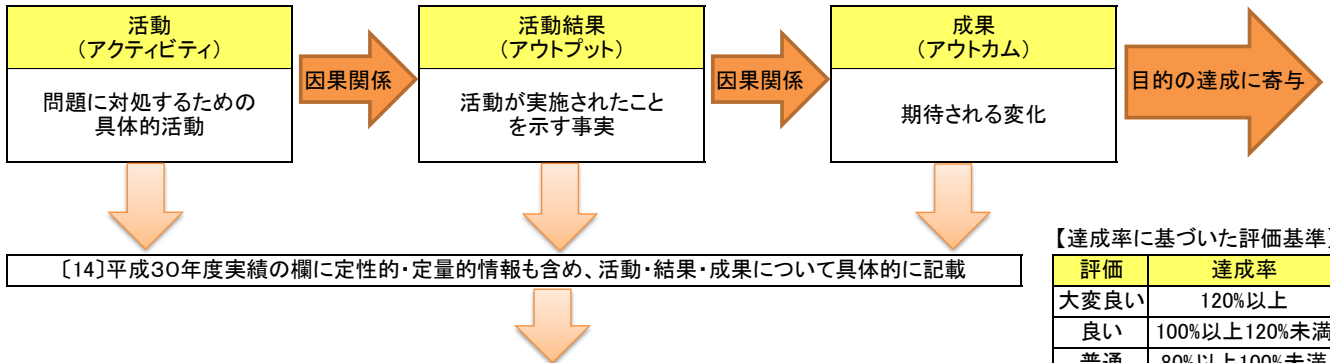
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	16,000	15,022	13,597	16,000	
主な事業費内訳	地域まちづくり支援事業補助金	千円	16,000	15,022	13,597	16,000
		千円				
		千円				
		千円				
	財源内訳	千円				
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(区民まちづくり基金繰入金)	千円	16,000	15,000	13,500	16,000
	千円	0	22	97	0	
12 人件費 (b)	千円	12,810	12,810	12,810	12,660	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	28,810	27,832	26,407	28,660	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	地域まちづくり支援事業(南区)	シート番号	215-15
-------	-----------------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	19の校区まちづくり協議会が多様化する地域課題の解決に向けた事業を実施することで、市民協働・市民参加による共助の地域まちづくりに寄与した。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		校区まちづくり協議会事業実施校区数	校区	目標値	20	20	20	20
				実績値	19	19	19	
				達成率	95%	95%	95%	
	評価	普通		普通	普通			
	算出方法・設定根拠など							
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		地域まちづくり支援事業補助金交付事業数	件	目標値	35	35	35	35
				実績値	34	35	30	
達成率				97%	100%	86%		
評価	普通	良い		普通				
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>平成24年度から始まった本事業は、多様化する地域の問題を解決する手段として非常に有効であり、ほぼ全ての校区が活用している。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。